

泊発電所 3号炉審査資料	
資料番号	資料2-5
提出年月日	令和5年3月15日

泊発電所 3号炉 今回提出の審査資料に対する記載適正化予定リスト
 技術的能力1.10 水素爆発による原子炉建屋等の破損を防止するための手順等

No.	条文	まとめ資料 ページ番号	比較表 ページ番号	適正化予定内容
1	技術的能力1.10	—	とりまとめた資料-2	2-1) 設備の相違におけるNo. ①の相違理由欄の誤記を修正する。(下線部参照) (旧)「1.3 原子炉冷却材圧力ダウンドリを減圧するための手順等」 (新)「1.3 原子炉冷却材圧力バウンドリを減圧するための手順等」
2	技術的能力1.10	—	とりまとめた資料-3	2-1) 設備の相違におけるNo. ③の相違理由欄に以下の先行プラントの情報を追記をする。(下線部参照, 技能1.16の記載と同様) ・泊3号炉は、全交流動力電源又は常設直流電源喪失時のアニュラス空気浄化設備を運転するための系統構成において、手動によるダンパの閉処置(試料採取室排気隔離ダンパ閉処置)を実施する。このダンパの閉処置(試料採取室排気隔離ダンパ閉処置)は、アニュラス空気浄化設備において先行PWRプラント実績のないものであるが、泊3号炉の中央制御室空調装置の運転手順におけるダンパ処置と同様の操作であるため、容易に作業可能である。なお、泊3号炉の中央制御室空調装置の運転手順におけるダンパ処置は、川内1/2号炉、玄海3/4号炉、伊方3号炉、大飯3/4号炉、高浜1/2/3/4号炉及び美浜3号炉も同様に実施しているものである。
3	技術的能力1.10	1.10-12	1.10-17	泊3号炉欄の操作手順内について、以下の読点を削除する。(下線部参照) ⑧ 運転員(中央制御室)Aは、中央制御室で常設代替交流電源設備によりB系アニュラス空気浄化設備に給電されていることを確認し、中央制御室からB-アニュラス空気浄化ファンを起動し、B-アニュラス全量排気弁を開又は、自動で開となることを確認する。
4	技術的能力1.10	1.10-14	1.10-21	泊3号炉欄の操作の成立性の記載について、以下の追記をする。(下線部参照) 円滑に作業ができるように、移動経路を確保し、防護具、照明及び通信連絡設備を整備する。室温は通常運転時と同程度である。